

草花(くさばな)クイズ その③

その①②につづいて、その③です。

まだまだあつい日もありますが、きせつは、秋にむかっています。

前回の草花クイズは春の草花でしたが校庭の草花も夏から秋へとようすがかわってきました。

最近(さいきん)、右の写真(しゃしん)のような草花をよく見かけますが見たことがありますか。

「エノコログサ」といいます。おもしろいなまえですね。



さて、ここで問題(もんだい)です。

どうして「エノコログサ」とよぶようになったのでしょうか。

次の3つから1つえらんでね。

- ①穂(ほ)のところが柄(え:手でもつところ)のように見えたから。
- ②「犬」といういみをあらわすことばから
- ③「エノコロ」という地名(ちめい)から

正解は……

②です。「犬」といういみの「いぬころ」がなまって「エノコロ」になったと言われています。でも、どこが「犬」なの?と疑問(ぎもん)に思う人もいます。

じつは……

穂(ほ)のようすが、犬のしっぽににているところからついた名前だそうです。そういえばどことなくにえていますね。

ちなみに英語(えいご)では、foxtail(キツネのしっぽ)とよばれているそうです。

たしかに、キツネのしっぽにもにていますね。



また、「ねこじゃらし。」とよぶ人もいます。ネコの前でエノコログサの穂(ほ)を振ると、ネコがじゃれるところからそうよぶ人もいます。

犬なの? キツネなの? ネコなの? おもしろいですね。